

薬学部は何をすることで？ 創薬薬理学分野

研究テーマ	難治性疾患の予防・治療に対する画期的創薬を新しいアイデアで実現する
研究分類	「創薬の標的となる病気の原因を解明する」 「病気の診断に役立つ技術を開発する」
主に関係する科目	生物

脂質は「水に不溶の生体分子」と定義され、生体内には多様な脂質分子が存在する。脂質の役割は多岐にわたるが、「エネルギー源」、「生体膜形成」、「脂質メディエーター」という三大機能がある。創薬薬理学分野ではこれらの1つである脂質メディエーターに関する新しい研究領域の開拓を目標としている。脂質は他の生体分子（アミノ酸、核酸、糖など）と比べて圧倒的に多様性に富むことが特徴である。ヒトを含む哺乳類の脂質は主にグリセロリン脂質、スフィンゴ脂質、コレステロールに大別され、当研究室では脂質の中でも特に多様性・多機能性に富むグリセロリン脂質に重点を置いた研究を行っている。これまで、グリセロリン脂質のユニークな生理活性を次々と発見しており(図1)、その成果の一部は企業との共同研究により医薬品事業へ展開中である(図2)。

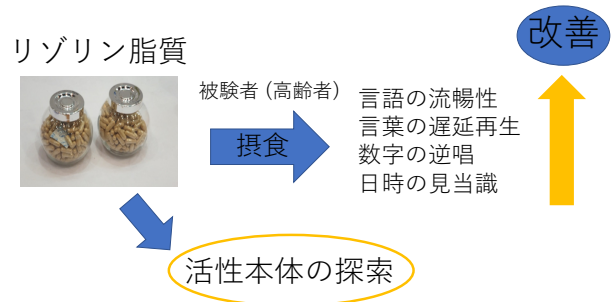


図1 認知症予防薬の研究

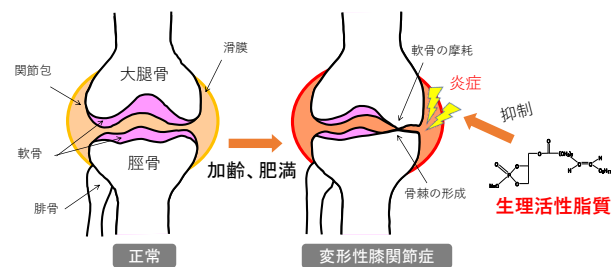


図2 変形性膝関節症治療薬の創薬